



相模原大野ロータリークラブ

- ◆会長: 布野 一喬 ◆幹事: 齋藤美希子 ◆副会長: 宮崎雄一郎
◆S A A: 加藤 良夫 ◆会報委員: 宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>
◆事務局: 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX: 042(755)0901
◆例会場: 相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
◆例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

2020年(令和2年)1月22日 第1258回例会

会長の時間: 布野一喬

今日は後程卓話をしますので、前段の話になります。私は今行っているPRT療法を、6年前にこの場で初めて披露しました。実はセミナーを控えていて、宮崎会員を練習台にして予行演習の意味もありました。1ヶ月ほど前から準備をしていましたが精神的な重圧からか、十二指腸潰瘍になった事を覚えています。当日は痛みと戦いながらでしたが、宮崎会員が優しい笑顔で「あ、変わるねえ」と言って下さってホッとしました。それがスタートで早6~7年、2/27にDVDが発売される事になり、そのプロモーションで、先月から新宿に20回位行きました。その時のエピソードを1つ紹介します。DVDを売るためのプロモーションなので、奇抜な事ばかりやりました。無料セミナーでは、全国から集まった見ず知らずの先生方の前で指導し、「オ！」という映像が撮ればよし、撮れるまで何度も続ける筈でしたが、1発OKでした。それより大変だったのは、重症患者さんを診る事でした。1人は額と首の後ろに発疹があつて、アロンαの匂いを嗅ぐとアレルギーが出る人でした。それを治して下さいと言われても、私は皮膚科の医師ではありません。スポンサーも何故この人を連れて来たのか、大変困りました。アレルギーに対して自分の知り得る知識を総動員して、1時間の対談時間を交感神経が・・・ヒスタミンが・・・等と科学的な話をして凌ぎました。もう一人は脳幹出血を経験した方です。頭頂部から左半身全てに激痛があり、耳が過敏で高周波音を感知すると耳から激痛が走るため、常に耳栓をして音を遮断しています。左半身完全に冷たくなっていて、幾ら温めても温かくなりません。脳幹にトラブルがあると平衡感覚や筋肉の調整にも関わるので、様々な障害が発生します。私にできる事は痛みを和らげること、興奮を抑えるためにカウンセリングで、患者さんの心を穏やかにすることに終始しました。その方は左半身がダメなので左側に立つとストレスになります。右側に立ち、目線を下げて話を聞き

ながら同調したり、辛い時は？楽な時は？と聞きました。それは脳に想起させるため、楽な時を考えている時は動かしても痛みが和らいでいます。痛みを取る事は絶対に無理だと病院では言われたそうです。口も唇も歯茎も全部、あらゆる所に痛みがあり、兎に角、話をよく聞きました。PRT療法が効果的かは分かりませんが、この療法は脳に入力していきます。側頭頭頂皮質は感覚を総合する連合野で、一時感覚野(最初に触れた情報が行く部分)から、後次連合野に伝わる感覚情報を基に、次の動きを作っていきます。命令を出す第一運動野から補足運動野、全運動野等の後次連合野に対して調整を掛ける部分です。脚が上がらないという患者さんに、もしかしたらと思いながら、少し施術をしたらスッと上がりました。経路を探りながら進めるとドンドンに楽になって行きました。理由は、偏に施術前のコミュニケーションやカウンセリングで私を信用してくれたからではないかと思いました。整骨院に来る患者さんで痛みを訴える方には、宮崎先生を紹介しています。宮崎会員は、笑顔で「大丈夫だよ。僕が治してあげるから。」と皆さん共通して言います。薬以上に最も大事な部分ではないでしょうか。心の繋がりが出来て効果があるのだと思います。「この先生嫌だな」と思った瞬間、実際に痛みは増します。良い先生は得てして、じっくり話を聞いてくれる先生です。

「私の言う事を聞きなさい」等と、上から目線で言う先生に対しては、脳が興奮して感覚神経が過敏になって痛みや痺れが増すという悪循環に陥ります。脳幹出血の方に対して思ったことは、コミュニケーションをしっかりとれば、究極は触らないでも変化が出る事です。後程、触らないでも変化が出る事を実演します。

幹事報告: 齋藤美希子

・「社会奉仕」卓話者派遣の件

2/12(水) 地区社会奉仕副委員長 栗原茂明様

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

1/24(金) 津久井※ 相模原グリーン※

《理事会報告》

- * Xmas 会会計報告／未確定(現時点収支+6,772 円)
- * 新年会〃／不足分は一般・委員会・親睦活動より
- * 廖郁寧さん卒業式 3/12、お別れ会 3/13「ANITA」
- * 2 月プログラム／クラブ週報・HP でご確認下さい
- * カーフェス／次年度開催
- * ひばりの夢コンサート／谷口台小校長経由で実施

卓話:PRT療法について



布野一喬会員 (Wa 株式会社代表取締役)

最初、PRT 療法のきっかけとなる出来事を見つけた時は「何故こうなるのか？」分かりませんでした。それは麻痺の方の施術中に起こりました。「こっちは足は動かないんだよ」と話す患者さんの施術中、頸部にアプローチをした所足が上がるようになりました。頸部に電気刺激を入れていない時と入れている時で立ち上がり方が違います。これがキッカケで PRT 療法が生まれました。刺激を入れると動かなかったものが動くようになり、色々と試すと頸部以外にもそのポイントがあることが分かりました。そのポイントはどんどん増えて行き PRT 療法の手技が生まれました。各ポイントの共通点としては“固有受容器”が豊富という事です。カンデル神経科学という本にもその事が載っています。恐怖で体が動かなくなることがあります。皆さんは「これをやったら痛いかも」という動きが分かっている場合体が強張っている事に気づいていますか？よくある例としては「転ぶから歩き回らないでね。」この一言でさえも“恐怖”に直結します。歩ける筈なのに恐怖で歩けなくなってしまう。そんな方に PRT 療法を行ってみると歩けるようになります。歩けない訳ではなく自分で体を制限してしまっているだけと言う事がありますので、PRT 療法をリセットする手技と呼んでいます。スポーツ選手にも効果あり、特に捻挫です。捻挫をした後に痛みがある場合ですが、これは靭帯部分に余計なテンションが掛かって痛みが出ていることがあります。この時に PRT 療法を用いて体の緊張をリセットすると、余計なテンションが取り払われて痛みが軽減することが多いです。外傷以外には寝たきりの方で体が丸まってしまっていた方に PRT 療法を行

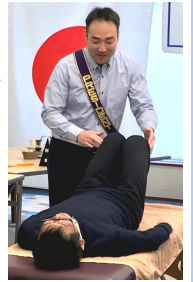
出席報告

た所、体が伸びる様になったという

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率
13 名	2 名	7 名	4 名	0 名	5 名	63.64 %

報告もあります。では、中丸会員にお手伝い頂いて始めます。好きな事を思い出して下さい。(仕事が好調)先程より可動域が広がっているのが分かります。嫌いな事を思い出して下さい。(娘の反抗期)身体が硬くなっているのが分かります。脳の中で良いイメージを想像すると体はリラックスし、悪いイメージを想像すると体は緊張し強張ります。コミュニケーションの時点で、患者さんの緊張状態が変わってきます。扁桃体にストレスや恐怖や不安を感じる部分があって、そこが興奮すると疎み反応、逃走逃避反応が起こります。

前からライオンが来たら、人間は背中を丸め身体は後ろに行こうとしますが、後ろから来たら、背中が反り胸を張り身体は前に行こうとします。行こうとする方向に重心は移ります。中丸会員の場合、仕事が上手く行っている時の方が、身体が伸びやすく、ストレスが溜まっている時程体は固くなります。気温によっても人間の血流量は変わりますし、普段の生活など、全てが積み重なり身体の硬さに影響します。首には生理的湾曲(くぼみ)があります。仰向けに寝た姿勢では不安定ですが、くぼみに枕を入れると安定します。横向きになって上側の腕を後ろに上げます。角度(筋肉の張力)は、身体が計算したものです。膝を曲げているか伸ばしたかでも違ってきます。股関節の隙間も、脚が定位置かどうかでも変わります。人間の脳は、ほんの些細な事でも筋肉の張力を変えます。本来の筋肉の硬さ以上に脳からの影響が大きいのです。眼鏡一つでも、外れそうになっていると、脳はメガネが落ちそうと考え、固定しようとする力が加わります。身体の安定+心の安定によって筋肉の張力は如何様にも変わるという事です。患者さんと施術者との関係性、この先生なら安心と思う方が効果大です。ストレス解消のために、ストレスを抱えたまま運動をしても、身体は緊張状態にあるので怪我をする可能性が高いです。運動をする前に気持ちを切り替えておく事が大事です。自分で出来る方法もあり、“内側へ”を意識して下さい。腰痛の時はお腹側も擦ると効果的です。



R 財団寄付表彰

宮崎雄一郎 会員 P・H・F (4 回)

